

今週（2月17日から2月21日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週の無担保コール市場は、先週に引き続き複数の先から試し取りが実施されたが、全般的には落ち着いて推移する展開となった。

無担保コールON物は、0.475～0.478%での出会いが中心となり、出来高は3.5兆円前後と先週対比で概ね横ばい圏での推移となった。複数の先から、付利金利を上回る水準での試し取りが行われたものの、規模が限定的であったため、加重平均レートへの影響は少なく、17日(月)～20日(木)まで0.477%の横這いとなった。本日21日(金)は、連休前の4日積みとなったが、相場に大きな変化は見られなかった。

ターム物は、ショートタームを中心に0.4%台後半から0.5%台で出会いが見られた。また、証券業態の3月末越えの調達ニーズが徐々に強まっており、3M程度の期間で0.6%近辺での出会いも散見された。

日銀当座預金残高は、週初530兆円程度からスタートし、国債発行や財政資金の揚げにより19日(水)までに527兆円程度まで減少したが、20日(木)の国債大量償還や国債買入オペ要因により、再び530兆円程度まで回復し、その後は横這い圏で推移する展開となった。

●レポ市場

今週のGC T/Nは、0.435～0.500%近辺での出会いとなった。週を通してオファーサイドの資金調達姿勢が安定的に見られたことから、先週比で上昇する展開となった。

SC取引については、カレント銘柄近辺やチーペスト周りの銘柄にビッドが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、1Yゾーンが入札を通じて水準調整が行われた。

19日(水)に実施された1Y物入札は、前回債からレートが上昇したものの無難な結果となり、その後のセカンダリーマーケットでは底堅く推移した。21日(金)に実施された3M物入札は、しっかりとした結果となり、その後のセカンダリーマーケットでも堅調に推移した。

●CP市場

今週のCP 発行市場は、電気・ガス、卸売等の業態から大型発行が見られた。

市場発行残高は、週を通して25兆円台半ばで安定的に推移する展開となった。

発行レートは、引き続き0.5%以上で推移し、銘柄により投資家の運用目線にばらつきが見られた。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レポレート(翌日 物・T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
2/17（月）	39,174.25	1.385	151.88	0.477	0.441	5,276,900
2/18（火）	39,270.40	1.430	151.63	0.477	0.448	5,270,300
2/19（水）	39,164.61	1.430	152.06	0.477	0.474	5,269,400
2/20（水）	38,678.04	1.440	151.04	0.477	0.486	5,307,300
2/21（金）	38,776.94	1.423	149.82	0.478	0.496	5,295,700

来週（2月24日から2月28日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
2/24 (月)	振替休日				1月のユーロ圏消費者物価指数改定値
2/25 (火)	1月の企業向けサービス価格指数(日銀 8:50)	流動性供給 4,000億円 2/26発行			12月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数
2/26 (水)	12月の景気動向指数改訂状況(内閣府 14:00)	交付税借入 11,950億円 3/11借入			1月の米新築一戸建て販売件数 2月の米CB消費者信頼感指数
2/27 (木)		2Y 26,000億円 3/3発行			10-12月期の米GDP改定値 1月の米耐久財新規受注
2/28 (金)	2月の都区部消費者物価指数(CPI 総務省 8:30) 1月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 1月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50) 1月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	TB3M 45,000億円 3/3発行			1月の米個人所得・消費支出(PCE) 2月のシカゴPM景況感指数

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
2/24 (月)									
2/25 (火) 日銀予想	▲ 200	24,700	24,500	CP買入 社債買入 国債補完	▲ 200 ▲ 200 4,300		3,900	28,400	TB3M発行▲45,000 償還43,000 国有林野借入▲960 償還960
2/26 (水) 弊社予想	▲ 500	▲ 2,000	▲ 2,500				0	▲ 2,500	流動性供給▲4,000
2/27 (木) 弊社予想	▲ 500	1,000	500				0	500	
2/28 (金) 弊社予想	500	7,600	8,100				0	8,100	特別法人事業譲与税譲与金の払い 交付税借入▲12,500 期日12,500
週 間 合 計	▲ 700	31,300	30,600	—	3,900	0	3,900	34,500	

●短期金融市場の見通し

無担保コールO/N物は、引き続き0.475～0.478%近辺での出会いが中心となることが予想される。債券レボGC T/N物は、0.450～0.500%のレンジでの推移が予想される。短国市場は、28日(金)に3M物の入札実施が予定されている。CP市場は、月末発行を控え、案件がどの程度膨らむか注目される。

主要なイベントは、国内では28日(金)に2月の都区部消費者物価指数、海外では24日(月)に1月のユーロ圏消費者物価指数改定値、26日(水)に1月の米新築一戸建て販売件数、27日(木)に10-12月期の米GDP改定値、28日(金)に1月の米個人所得・消費支出(PCE)などの発表が予定されている。

- ◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。